

**⚠ 使用上の注意**

**⊗ してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

**1. 次の人は服用しないで下さい**

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- (3) 15才未満の小児
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦

**2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい**

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

**3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい**

(眠気等があらわれることがあります)

**4. 服用前後は飲酒しないで下さい**

**5. 5日間を超えて服用しないで下さい**

**相談すること**

**1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい**

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 授乳中の人
- (4) 高齢者
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (6) 次の症状のある人：高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人：甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかかったことのある人：胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

**2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい**

| 関係部位  | 症 状   |
|-------|---|
| 皮膚    | 発疹・発赤、かゆみ、青あざができる   |
| 消化器   | 吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便           |
| 精神神経系 | めまい   |
| 循環器   | 動悸  |
| 呼吸器   | 息切れ   |
| 泌尿器   | 排尿困難  |
| その他   | 目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

| 症状の名称  | 症 状   |
|--|---|
| ショック<br>(アナフィラキシー)                           | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                   |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブス・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死融解症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。  |
| 肝機能障害  | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。   |
| 腎障害  | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。   |
| 無菌性髄膜炎                                       | 首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。) |
| 間質性肺炎  | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                            |
| ぜんそく   | 息をすときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。  |
| 再生不良性貧血                                      | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。                             |
| 無顆粒球症  | 突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。   |

**3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい** 便秘、口のかわき、眠気

**4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合(特に熱が3日以上続いたり、又、熱が反復したりするとき)は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい**

## 効能効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## 用法用量

次の量を食後なるべく30分以内に服用して下さい。

| 年齢        | 1回量     | 1日服用回数 |
|-----------|---------|--------|
| 成人（15才以上） | 2カプセル   | 3回     |
| 15才未満     | 服用しないこと |        |

### <用法用量に関連する注意>

(1)用法用量を厳守して下さい。

(2)カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲み下さい。

（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



## 成分分量

6カプセル（成人1日量）中

| 成分                | 分量    | はたらき                    |
|-------------------|-------|-------------------------|
| イブプロフェン           | 450mg | 熱を下げ、痛みをやわらげます。         |
| d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 | 3.5mg | 鼻水、鼻づまり、くしゃみ等をおさえます。    |
| チペピジンヒベンズ酸塩       | 75mg  | せきの中枢に作用してせきを鎮めます。      |
| dl-メチルエフェドリン塩酸塩   | 60mg  | 気管支をひろげ、せきを鎮め、のどを楽にします。 |
| グアヤコールスルホン酸カリウム   | 250mg | たんの切れを良くします。            |
| 無水カフェイン           | 75mg  | 頭痛をやわらげます。              |
| チアミン硝酸化物（ビタミンB1）  | 25mg  | かぜの時に消耗するビタミン群を補います。    |
| リボフラビン（ビタミンB2）    | 12mg  |                         |

添加物として乳糖、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、ゼラチン、ラウリル硫酸Naを含有します。

### <成分分量に関連する注意>

配合成分のリボフラビンにより、尿が黄色になることがあります。

## 保管及び取扱い上の注意

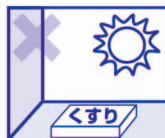
(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。

(2)小児の手の届かない所に保管して下さい。

(3)他の容器に入れ替えないで下さい。

（誤用の原因になったり品質が変わります。）

(4)表示の期限内に服用して下さい。



### ■お問い合わせ先

滋賀県製薬株式会社 くすり相談室

電話：(0748) 88-3180（大代表）

受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）

### 副作用被害救済制度のお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元



滋賀県製薬株式会社

滋賀県甲賀市甲賀町滝879